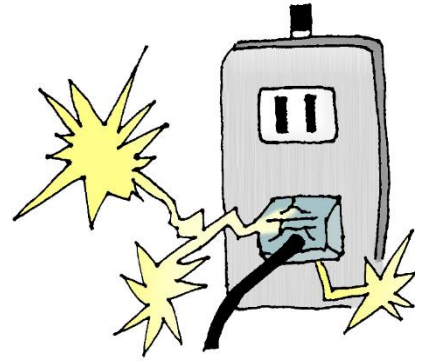


火災を防ぐ⑤

電気配線 からの出火

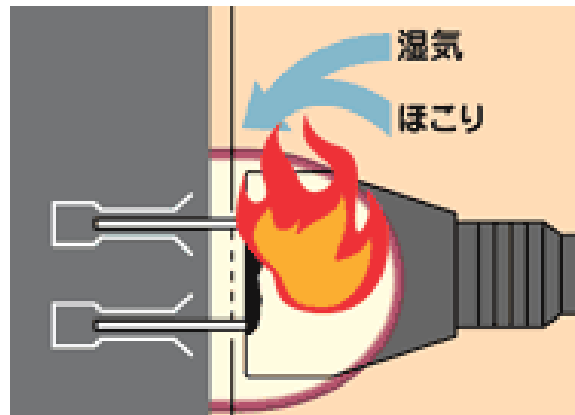


【概要】

総務省消防庁のホームページに掲載されている「平成30年（1～12月）における火災の概要」には建物火災のうち、電気配線が原因の火災は第5位となっています。なぜ、電気配線から出火するか原因と対策を見てみましょう。

【トラッキング現象】

長年使用しているコンセントと電気プラグに埃が溜まり、そこに湿気が加わることで、プラグの差し歯の間で小さなスパーク（電気放電）が繰り返し起きます。これによりプラグの差し歯の間が炭化（グラファイト化）することにより、電気の通り道が出来てしまいます。やがて、プラグは電気による放電によって燃えあがります。



コンセント回りは定期的に清掃し、埃が溜まらないように気をつけましょう。
また、コンセントや電気プラグの異常を発見したらそのまま使用せず、電気
工事士の免許を持った方に相談しましょう。

